



桜川市 移住者インタビュー

暮らしやすさも魅力!

のどかな風景のなか、自分のペースで生活できる桜川市は、東京や首都圏各地から移り住む人も多い。移住者に桜川での暮らしや魅力、働き方などを聞いてみた。

この人に聞きました! / Nozomiさん

「Nozomi's 狩チャンネル」で、新米猟師としての活動を伝える人気YouTuber。東京で会社勤めをしていたが、2018年、祖父の畑を継ぐため、孫3人で桜川市での農業をスタート。害獣駆除のため狩猟免許も獲得。本業はヨガインストラクター。作業服専門店「ワークマン」アンバサダーとしての顔ももつ。

東京から桜川市へ移ったのは2018年のこと。「自分が好きな野菜とヨガを生業にしたい」と考え、ヨガインストラクターの資格を取ってヨガ教室を開業しました。農業は知識ゼロでしたが、近所の農家さんが教えてくださることも多く、人との距離の近さ、優しさを感じましたね」とNozomiさん。害獣駆除のため狩猟免許を取得し、猟師の活動記録として動画配信を始めたところ、全国の猟師とつながりが生まれ、「ワークマン」のアンバサダーにも就任した。新しいことへのチャレンジを楽しみながら、桜川で人生を大きく変えた彼女。「ずっと桜川市に拠点を置いて、余力を感じながら今の生活を続けていきたいです」と話す。

桜川市に移ってから人生の視野も選択肢も広がりました!

2018年に市の補助金を得て、わな猟免許、2019年に第一種銃猟免許、2020年に銃所持許可を取得。異にかかったイノシシにとどめを刺す瞬間は最も過酷で緊張する瞬間だ

今では近所の畑も任せられるようになり、当初の3倍以上の1haの畑を耕す。利益重視ではなく、自分が食べたい野菜を育てることが信条だ

田んぼと山を眺めながら、庭でのバーベキューを楽しんでいます

この人に聞きました! / 中島道博さん一家

夫婦ともに結婚前は東京に住んでいたが、出産を機に田舎暮らしを検討。首都圏を転々とした後、2021年秋、桜川市の定住促進助成金を利用し、蔵と離れが付いた一軒家を購入。

クジャクやヤギがいる雨引観音(雨引山楽法寺)は、穰生君(7歳)、澁生君(4歳)もお気に入り

8DKの戸建てを7LDKに改装。玄関のポストと表札は道博さんの手作りだ

「のびのびした場所です。子どもを育てたい」と、東京近郊からの移住を決意。桜川市周辺が気に入って、試験的に賃貸暮らしをした後、桜川市で田んぼを一望できる一軒家を購入した。ジャズドラマーである道博さんは、自宅の離れでドラム教室を営んでおり、「窓から山が見えるドラム教室として喜ばれます」と笑顔。また自宅の改装を機にDIYにハマり、今では家具も作るようになったそう。果名子さんは隣の市に通勤しながら、桜川市を満喫している様子。「ホテルを見たり、庭でバーベキューしたり、ここでの暮らしを家族で楽しんでいます。今は庭で野菜作りをするため畑を準備中です!」。

移住先としておすすめの理由!

桜川市では、市内に移住した人や子育て世代のためにさまざまな支援を用意している。これらの行政サービスは今後もさらに充実!

若者支援

40歳以下で50km以上の市外通勤者に年間最大1万2000円の通勤補助、結婚時にお祝い金10万円給付などを開始!

子育て3step応援金

出生時、小学校入学時、中学校入学時に10万円ずつ支給する制度。小学校入学時にはランドセルも贈呈!

住宅取得助成金

桜川市内で新たに住宅を取得した場合、所定の条件を満たしていれば、最大200万円の助成金を支給!